

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和4年度分)

施設名 明々庵・赤山茶道会館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 文化振興課
 指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 総合評価

市	S	<p>【優れていると評価した点】 施設の維持管理を適切に実施している。2年ぶりの「明々庵再建記念茶会」では、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、人数を例年の3分の2の規模で実施するため、関係各流派に説明し丁寧に進めて実施された。「松江城大茶会」を赤山茶道会館と明々庵の百草亭で3年ぶりに実施し、一般の観光客には赤山茶道会館の2階和室で普段とはまた違う呈茶を提供するなど、工夫し利用者の満足度に繋げている。観光情報誌、新聞記事、メディア等を活用し積極的に施設のPR等を実施している。学校、企業、団体と多岐にわたり、茶道体験や講座を行い幅広い年代に松江の茶の湯文化を発信している。</p> <p>【課題、改善点等】 利用者数については、明々庵と赤山茶道会館を併せて年間9,196人(対前年度比:188.1%)と前年度と比較して大幅に増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度(13,870人)までの回復には至っていない。引き続き、利用者数の増加に向けた取り組みが必要である。</p>
---	---	--

指定 管理 者	S	<p>【優れていると評価した点】 「明々庵再建記念茶会」を3年ぶりに実施。「松江城大茶会」でも百草亭と赤山茶道会館を会場に抹茶2流派が担当し実施。また、昨年から取り組んでいた、新入社員研修「茶道で学ぶ礼儀作法」も実施。島大生や高・中生、養護学校生徒等の校外授業も複数回実施した。定時ガイドも島根県観光連盟のホームページで詳しく紹介されたことから、旅行会社や個人客からの体験申し込みがあり、少しずつ定着してきた。JR西日本の豪華寝台列車での立ち寄り先ということから、雑誌・新聞、TVやユーチューバーの取材も多くあり、積極的に受け入れ。新型コロナウイルス感染症が落ち着いたことから、入館者数は前年比178%。茶道会館の使用者数も各流派のお稽古や「再建記念茶会」「松江城大茶会」の実施等で大幅の210%の伸びとなった。</p> <p>【課題、改善点等】 社員研修が今年度も紙上での誘導確認等は行ったものの、救命救急講習等の実施が出来なかった。</p>
---------------	---	--

2. 施設利用の増減について

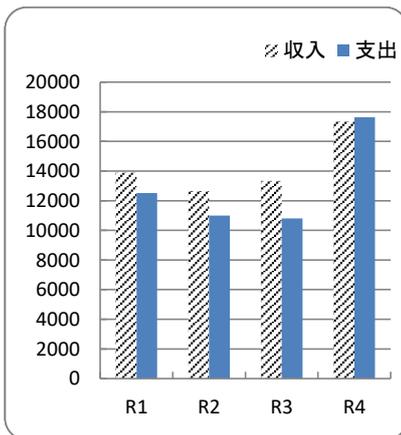
二つの大きな茶会を3年ぶりに実施。移動制限の解除から個人客と国の支援策もあり各旅行会社の利用が大きく伸びた。JR西日本の豪華寝台列車「瑞風」の催行回数も増え、ガイド料等の収入が大きく伸びたことが大きかった。また、中学生の「松江探訪」での会館者数も増えた。結婚式の前撮りで赤山茶道会館での撮影や明々庵の庭での撮影などの入館者も増えたことが大きかった。昨年同様に、新聞・雑誌、TVやユーチューバーの取材で各種の発信をしてもらったこともあり、前年を上回った。

(1) 収支状況の推移 (自主事業を除く) (千円)

項目\年度		R1	R2	R3	R4
施設 の 収 支	収入	13,897	12,662	13,341	17,353
	うち指定管理料	8,960	10,250	10,790	11,845
	うち利用料	3,242	2,412	2,551	5,508
	支出	12,513	10,991	10,805	17,630
差引		1,384	1,671	2,536	△ 277

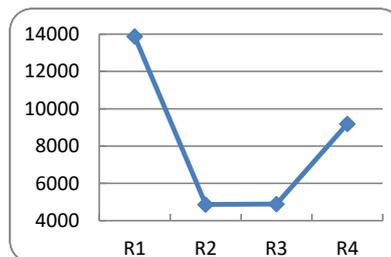
上記以外の市の収入、支出

市の収支		R1	R2	R3	R4
収入(使用料)		0	0	0	0
支出		1,493	1,749	1,368	5,749
うち市の修繕費		748	0	264	315



(2) 利用者の推移

	R1	R2	R3	R4
(人)	13,870	4,870	4,888	9,196



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 当該年度の実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する達成度 C/B	基準に対する達成度 C/A
アウトプット	明々庵年間入館者数	10,442	10,442	6,411	61.4%	61.4%
	赤山茶道会館利用者数	2,770	2,770	2,785	100.5%	100.5%
アウトカム	利用者のアンケート満足度 「茶の湯文化に対する理解・関心が深まった」	80%	80%	100%		
				達成度平均	81.0%	81.0%

	指定管理者	市
達成度に対する意見	<p>【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】</p> <p>島大生や中学生、養護学校等の校外授業として複数回「茶の湯講座」を実施。年間を通して行っている「定時ガイド(茶道体験)」や新入社員研修「茶道で知る礼儀作法」を実施。JR西日本の「瑞風」や旅行会社で来庵の団体客に対してのガイド料収入も大きかった。「明々庵再建記念茶会」や「松江城大茶会」が3年ぶりに人数制限を設けながらも実施できたことや、各流派のお稽古も本格的に始まったことで茶道会館の利用者増につながった。コロナ禍を受けての茶会のあり方を模索したい。来館者アンケートの結果は全員が「非常に理解が深まった」「少し関心を持った」と満足していただいた回答となった。</p>	<p>【達成度の原因・分析】</p> <p>「明々庵再建記念茶会」や「松江城大茶会」が開催されたことから、赤山茶道会館利用者数については、目標を達成することができた。新型コロナウイルス感染症の影響により、明々庵については、目標値との差が大きいが、利用者アンケートの満足度は高く、達成度は高評価できる。次年度以降も、引き続き目標達成に向けて取り組んで欲しい。</p>

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
133	①満足している 133件(100%) ②どちらともいえない 件(%) ③満足していない 件(%)	①良い ・当時の茶室が自然の感じで維持されており、素敵な空間でした。説明もわかりやすく良かったです。 ・茶の湯の歴史から、礼儀・作法まで丁寧に教えていただき、茶の湯文化に触れられ理解が深まりました。 ・毎年松江には来ていますが、JRの「西ナビ」に明々庵が良いと書かれていたので来ましたが、とてもいいところでした。 ・50年ぶりの明々庵でしたが、以前と全く変わらない雰囲気がお土産で、とても良かったです。 ②苦情 なし ③要望 なし

(4)住民サービス向上の事例

公民館や地元の小グループの方の要望があれば、都度来館に合わせてガイドを行っている。「定時ガイド(茶道体験)」も一人でも多くの方にお茶に興味を持っていただけるよう、「お茶の歴史だけでなくお茶の礼儀作法」などの解説も行っていきたい。

3. 自主事業

市の評価	「明々庵再建記念茶会」や日本三大茶会の一つ「松江城大茶会」を人数制限を設けながらも実施できた。また、定時ガイドは随時実施。大学生や中学生、養護学校の生徒さんに「城下町松江の茶の湯文化」や、茶道で学ぶ「礼儀作法研修」も実施できた。
実施状況	新入社員研修は4社で実施。「定時ガイド(茶の湯体験)」も事前申し込みで随時実施。松江で唯一の立ち寄り先である「瑞風」も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、25回(参加人数610人)の催行ができた。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	指定管理者 評価	松江市 評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	A	A
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	A	A
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	A	A
広報活動	A	A
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B	B
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	C	B
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	B	B
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	B	B
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A	A
清掃業務	A	A
機械設備等の保守点検	A	A
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	A	A
松江市への報告	A	A
労働安全衛生	A	A
施設の巡視	A	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A	A
備品の管理	A	A